

京都市立 鏡山小学校 学校沿革史概要（令和7年度）

概要

本校は、昭和6年（1931年）4月に開校した今年度創立95周年を迎える学校である。校名の由来は、天智天皇山科陵の後方にあるなだらかな円錐形の山が「鏡山」と呼ばれ、聖地として命名されたことによる。

その校区は、西に東山連峰（九条山・花山）を望み、東には牛尾山、北に鏡山、南方には山科盆地が広がるその一画にある。ここは昔、農業が主な産業であった。校区の北側を通る琵琶湖疏水（山科疏水）の完成により永年の水不足から解放され、農業生産量が向上していった。しかし関東や北陸・東海と関西とを結ぶ交通路として山科の重要性が増してきたこと及び流入人口の増加に伴い、現在は多くの田畑が住宅地として転用されている。そのため、代々この地に根差して住まわれている方も多い一方で、新興住宅地等も新たに開発されてきた。

このような状況は児童数の変遷にも表れている。本校が開校に至るまで、ここ山科は山階小学校と勸修小学校の2校であった。明治から大正にかけての人口増加に伴い山階小学校の児童数も大規模となったため、山科の京都市編入を機に新設校として本校は開校した。その後も山科の人口は爆発的に増加し、昭和40年代から50年代にかけては、毎年1、500名を超える児童数であった。一時は、2、000名近い児童がこの鏡山小学校に在籍する大規模な学校であった。そのため、陵ヶ岡小学校開校に伴い校区を分離する等しながら現在に至る。現在は児童数464名、17学級の学校規模である。

本校はこのような歴史の中、地域・保護者に支えられながら、子どもを中心とした日々の取組を進めてきた。当時、子どもだった方が大人になり、この鏡山を担う人材として活躍されている方々も少なくない。そのような方々が、この鏡山の子どもたちのために惜しみなく力を尽くすといった地域の文化が脈々と受け継がれている中、地域のコミュニティとしての役割を担っている、それが鏡山小学校である。

校章・校歌



《校章の由来》

校名の鏡山に因んで

- ・台生地は神鏡を型どる。
- ・中の「山」の字は矛の形でおさめ鏡山とする。
- ・作者は磯田一馬氏
- ・昭和6年5月8日に本校制定の校章及び児童帽章として決定した。

京都市立鏡山小学校校歌

作詞 東綾子
作曲 東貞一

一
山には四季のはなもみじ
御陵うつす清い水
自然の姿美しく
おさない心はぐくんで
理想かがやくまなびやよ
あゝ鏡山鏡山

二
仲良くのびよ松並木
空にはなさく星のよう
手に手をとってかがやけと
花山のおかの天文台
素直なよい子に呼びかける
あゝ鏡山鏡山

沿革

昭和 6年(1931年)	4月1日	「京都市鏡山尋常小学校」として開校。 それまでは山階尋常小学校に通学。 山科町の京都市編入と同時に新設校として開校。
	5月8日	校章が決定。
昭和 7年(1932年)	8月22日	鏡山教育会が発足し、発令式を行う。
昭和16年(1941年)	4月1日	校名が「京都府京都市鏡山国民学校」と改称される。
昭和22年(1947年)	4月1日	校名が「京都市立鏡山小学校」と改称される。
昭和26年(1951年)	3月5日	鏡山小学校の校歌ができ、発表会を行う。
昭和39年(1964年)		講堂兼体育館が竣工。
昭和40年(1965年)		現在の北校舎が竣工。
昭和42年(1967年)		現在の南校舎が竣工。 現在の体育館のある場所にプールが完成。
昭和45年(1970年)	4月6日	鏡山小学校の分校が「京都市立陵ヶ岡小学校」として独立。
昭和49年(1974年)		現在の本館が竣工。
昭和50年(1975年)		明鏡館が完成。
昭和54年(1979年)		東校舎が竣工。
平成 2年(1990年)		現在の北校舎を大規模改修する。
平成 4年(1992年)		現在の南校舎を大規模改修する。
平成 7年(1995年)		東校舎・プールを取り壊し、体育館が現在の場所に竣工。
平成 8年(1996年)		プールが現在の場所に竣工。
平成10年(1998年)		本館1階に「ふれあいサロン」を整備。
平成12年(2000年)		創立70周年記念事業 北校舎2階に「コンピュータルーム」を整備。
平成16年(2004年)		体育館南側のフェンスが完成。
平成18年(2006年)		「学校運営協議会」を発足。
平成20年(2008年)		「放課後まなび教室」を開設。
平成22年(2010年)		北校舎・南校舎・本館・明鏡館の耐震工事が完成。
平成24年(2012年)		学校図書館のビフォーアフターが完成。
平成26年(2014年)		北校舎のトイレ全面改修工事が完成。
平成27年(2015年)		体育館北側にピオトープが完成し、「ホテルのせせらぎ」と命名。
平成30年(2018年)		北校舎・南校舎・本館の環境配慮型校舎等長寿命化事業建築、 その他改修工事が完成。それに伴い、本館を西校舎と改名。 西校舎2階にランチルームを新たに設置。
平成31年・令和元年 (2019年)	3月5日～24日	西校舎南側にネット設置。グラウンドを修繕・整備。
令和 2年(2020年)	4月1日～5月31日	新型コロナウイルス感染予防のため、全市統一臨時休業
令和 3年(2021年)		新型コロナウイルス感染予防のため、全市統一臨時休業 新型コロナ感染拡大 学級閉鎖の措置多数 オンライン授業実施 GIGA端末(タブレット)一人一台使用 GIGA端末活用学習の促進
令和 6年(2024年)		校長 東 智子 着任 プール全面塗装改修 和室LED交換 玄関マット新設
令和 7年(2025年)	12月5日	教室黒板のホワイトボード化修繕(4～6年教室) 山科支部自主研究発表会(「しこう力」を伸ばす子の育成) ～考えたくなる「問い」のある授業～ 教室黒板のホワイトボード化修繕(たいよう・1～3年教室) 給食室回転釜更新(一機)